

和歌山県立医科大学附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

当科の特徴

現在の耳鼻咽喉科教室は、保富宗城教授を筆頭に准教授1名、講師3名、助教4名、学内助教5名、そのうち大学院生2名で構成されています。「世界的な視野で研究・診療を！紀州から世界へ発信」をモットーとして日々診療、研究に励んでいます。

教 授 保富 宗城
 准教授 グンデウス・メーメット
 講 師 杉田 玄、玉川 俊次、
 大谷 真喜子、榎本 圭佑、
 河野 正充
 助 教 平岡 政信（留学中）、
 武田 早織
 学内助教 村上 大地、熊代 奈央子、
 泥谷 匡祥、平山 俊、
 奥田 勝也、木下 哲也、
 木村 恵梨、木村 貴任、
 志賀 達也、宮本 真衣
 （令和2年4月現在）

和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室では、①感染症・免疫・アレルギー、②頭頸部腫瘍、③感覚器を3つの柱とし、臨床・研究・教育を進めています。

耳鼻咽喉科医師としての人格の涵養に努め、耳、鼻・副鼻腔、口腔咽喉頭、頭頸部（甲状腺を含む）の全ての診療分野において幅広い知識と臨床能力を習得し、「国民に良質で安心な標準的医療を提供できる」耳鼻咽喉科専門医を育成することを目的とします。



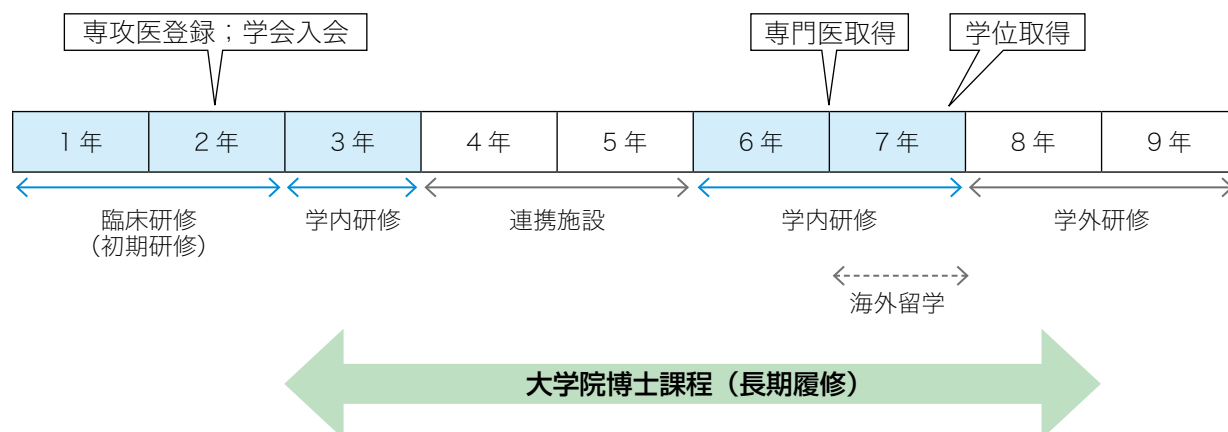
ローテーション例

一般枠コース

※ □ は学内研修

留学先として

ニューヨーク大学 微生物学（米国）
 カリフォルニア大学 サンディエゴ校 微生物学（米国）
 アラバマ大学 微生物学（米国）



一般枠医師については原則プログラムのローテーションに従って研修を行います。

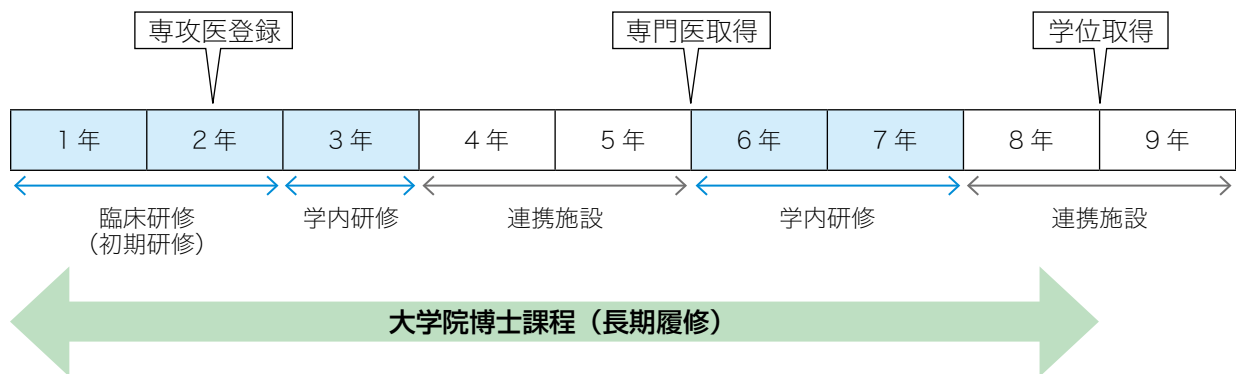
詳細は卒後臨床研修センター HP (<http://www.wakayama-med.ac.jp/med/sotugo/shoki/shoki-program/pdf/30.pdf>) に載っています。

耳鼻咽喉科専門医取得後は希望するサブスペシャリティに応じて、紀南病院や国保日高総合病院で研修を行います。卒後6年目にサブスペシャリティ専門医を取得予定です。

ローテーション例

県民医療枠コース

※ □ は学内研修



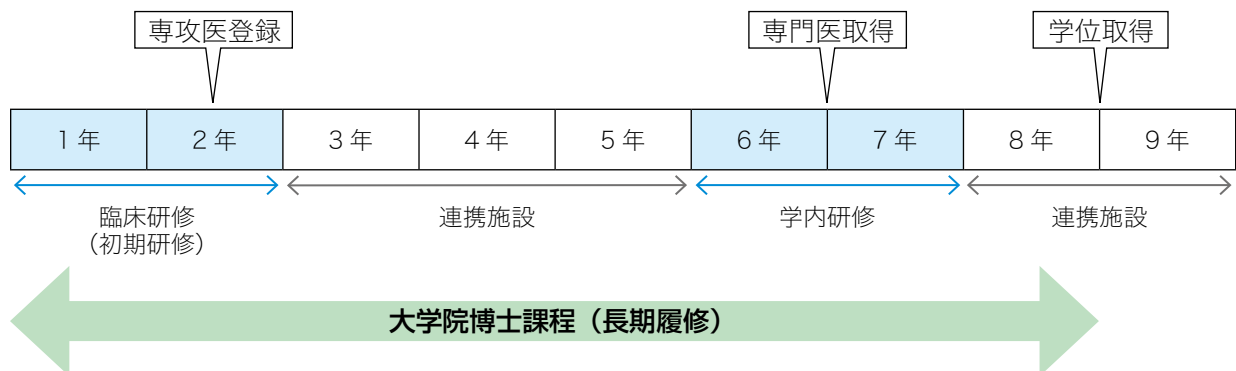
県民医療枠コースでは3年目は基幹施設である和歌山県立医科大学附属病院で研修し、4年目、5年目は地域中核病院である紀南病院等で研修を行います。基本領域専門医取得後は大学で、研究や高度な医療に専心し、留学など、さらにスペシャリティを深めます。8、9年目には地域中核病院で後輩の指導を行いながら、週1回は大学で研究を続け、地域中核病院で活躍できる医師を目指します。

希望者は大学院に入学し、9年目には学位を取得する予定です。

ローテーション例

地域医療枠コース

※ □ は学内研修



地域医療枠コースでは臨床研修（初期研修）の後、3年から5年目まではへき地医療拠点病院等で研修を行います。6、7年目には大学に戻ることによって高度な医療にも触れる機会があり、8、9年目にはへき地医療拠点病院等で後輩の指導にあたりながら耳鼻咽喉科・頭頸部外科のみならず、総合医や家庭医としてのスキルを磨いていきます。

なお、耳鼻咽喉科専門医は6年目に取得予定となっています。

研修目標

【プログラムの目的】

耳鼻咽喉科医師としての人格の涵養に努め、耳、鼻・副鼻腔、口腔咽喉頭、頭頸部（甲状腺を含む）の全ての診療分野において幅広い知識と臨床能力を習得し、「国民に良質で安心な標準的医療を提供できる」耳鼻咽喉科専門医を育成することを目的とする。

【募集定員：2名】

（4名程度まで調整可能）

経験目標

基幹研修施設である和歌山県立医科大学附属病院と国保日高総合病院、紀南病院の2関連研修施設において、それぞれの特徴を生かした耳鼻咽喉科専門研修を行い、日耳鼻研修到達目標や症例経験基準に掲げられた疾患や手術を経験する。4年間の研修中、認定されている学会において学会発表を少なくとも3回以上行う。また、筆頭著者として学術雑誌に1編以上の論文執筆・公表を行う。本プログラムでは、専門医および学位取得コースとして、大学院博士課程進学が可能です。

教授からのメッセージ



保富 宗城 教授

耳鼻咽喉科は、聴覚・平衡覚・嗅覚・味覚の「感覚器」と、嚥下・音声の「機能」、頭頸部癌に対する「腫瘍外科」の専門的診療を担います。いずれも生活

の質に大きく関わる領域であり、高齢化や社会ニーズの変化からさらに役割が増える領域と思います。また、多くは体表面に露出した生体防御の第一線に位置することから「感染症」が頻発する、感染免疫が深く関わる領域ともいえます。この広い専門領域を持つ耳鼻咽喉科においては、基本となる思考過程が重要に思います。基礎研究は、臨床医としての成長にも大きく役立つと考えます。

一方、現在の医療環境や医学教育は、新専門医制度を始めとして大きな転換期にあると感じます。ともすれば、治療成績や研究成果に目が奪われがちですが、医学における臨床や研究は、すぐに成果や目標を達成できるものではなく、時間をかけて培われる場合も多いです。医学の本質的な重要性は、いつの時代においても変わらないと思います。

「四時ノ順環」というのは、春夏秋冬を意味する吉田松陰の人生観の言葉ですが、臨床、教育、研究にもつながると思います。「春」に新しい種を蒔き新しい芽生えがあります。「夏」には、大きく育ちます。「秋」は実りの季節であり、ようやく収穫の時期となります。「冬」には、秋に収穫した実りを蓄え、種の選定を行い、次の春に備えます。

「四時ノ順環」のなか、諸君とともに、耳鼻咽喉科学の発展に少しでも貢献できればと思います。



当科で取得可能な専門医と指導体制

研修施設	日耳鼻専門医	気管食道専門医	頭頸部がん専門医	甲状腺専門医
和歌山県立医科大学附属病院	○	○	○	○
ひだか病院	○			
紀南病院	○	○		○



外来診療予定

診察室	月	火	水	木	金
1 診	保富 宗城	大谷 真喜子	グンデウス・メーメット	保富 宗城	大谷 真喜子
2 診	杉田 玄		榎本 圭佑	玉川 俊次	
3 診	熊代 奈央子		河野 正充	武田 早織	
備考	午後 (頭頸部がん外来) 保富 宗城 (睡眠時無呼吸外来) 杉田 玄 (甲状腺外来) 熊代 奈央子	【手術日】 午後 (スポーツ耳鼻科) 大谷 真喜子	午後 (中耳炎外来) 河野 正充 (甲状腺外来) 榎本 圭佑	午後 (耳鼻科疾患外来) 保富 宗城 (頭頸部がん外来) 保富 宗城 玉川 俊次 (幼児難聴外来) 河野 正充 武田 早織	【手術日】 午後 (補聴器外来) 担当医
新患	保富 宗城 杉田 玄	新患担当医	グンデウス・メーメット 榎本 圭佑 河野 正充	保富 宗城 玉川 俊次 武田 早織	新患担当医